

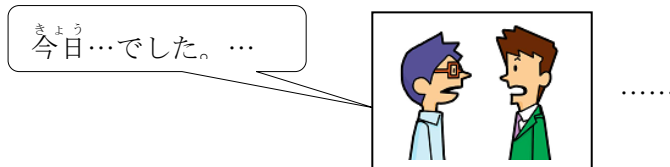
プリント1

あいづちの打ち方

やってみましょう (基本)

○ですか、×ですか。

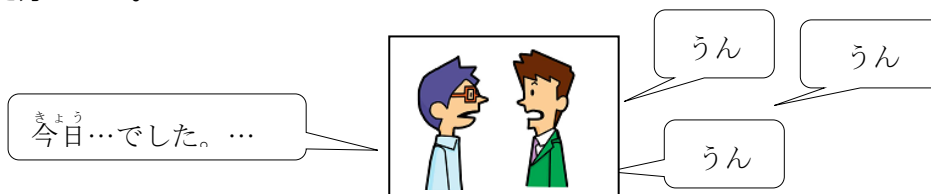
- ① 話している人の迷惑になるので、できるだけあいづちは打たない方がいい。



- ② 同じあいづちを何度も使わないように、あいづちを変えている。



- ③ まじめに聞いている、というサインなので、「うん、うん」と言って、うなずきながら聞いた方がいい。



プリント2

覚えましょう ～会話をつなげる表現～

【肯定するとき・同感だと思ったら】

その通りですね

よかったですね

本当ですね

(たしかに) そうですね

私もそう思います おっしゃる通りだと思います

(ご) もっともです

【基本のあいづち】

はい ええ そうですね

+うなづく



【否定するとき・反対だと思ったら】

いいえ

いいえ、違います

いえいえ

とんでもないです

そんなことは (ありません)

【驚いたとき】

そうなんですか

信じられません… それは驚きました。

すごいですね ぜひ拝見したいです

それは (いい) ですね!

【続きを聞きたいとき】

それで (どうなったんですか) ?

それはどうしてですか。 どうしてそうなったんですか。

やってみましょう (応用)

●アナさんが出張先から同僚の〇〇さんに電話をしています。あいづちを打ちながら会話してみましょう。

聞き上手とは

1. 受け入れる表情
2. あいづちを打つ。うなづく
3. 質問する
4. くりかえして言う
5. 共感する 相手が思っていることを代わりに言う。
相手が言っていないことを代わりに言う
例 それは (大変) でしたね……